

平成 18 年度

活 動 方 針



有限責任中間法人  
遊技球製造協会

# 平成 18 年度 理事長所信

理事長 西村佳苗

有限責任中間法人遊技球製造協会が設立されて、早や 2 期目を迎えることとなりました。業界団体並びに関係各位の皆様方には、当協会設立以来何かとご指導、ご鞭撻を賜りまして、厚くお礼もうしあげます。

さて今や、パチンコ、パチスロ業界全体は、これまでの高射幸性遊技から健全な真の大衆娯楽を目標にした大改革を、業界一丸となって取り組んでおられる現況であると推察いたしております。この巨大な娯楽産業界は、自動車産業にも劣らない産業ともいわれ、市場規模において 30 兆円規模とも言われてまいりました。しかし、パチンコ人口は 1994 年度の 2900 万人をピークに 2004 年度には 1790 万人までファンが減少する現況であります。その原因としては、景気の落ち込みや余暇の多様化等による外的要因が大きく影響したもので、不正機問題や高射幸性等が絡み合ってファン離れが生じたものではと考えております。業界は今や未曾有の大改革期にありますが、叡知を結集され一日も早く往時の活況を取り戻されんことを、祈念いたします。

4 月末から 5 月初旬の大型連休を前に、新基準機の入替えに低射幸性のデジタイプ、羽根もの、昔ながらのチューリップを多く使用したタイプの新台が導入されております。遊べる、楽しめる台が増殖しつつある現況で、また、新しいファンが定着すればと願う次第であります。

最近の急激な原油価格の急騰は、石油関連製品で 30～40%程度の値上がりを呈しております。また、中国での北京オリンピック会場の建設を期に鉄道、橋梁、ビル等の建設工事ラッシュ、インド、ベトナム諸国においても各種建設工事が進められております。その影響で鉄鋼材が不足するとともに、過去 3 年余り前から値上がりが続き、今後とも価格が元に戻らない状況であります。

私共遊技球協会社員が製造している遊技球は、100%鉄が材料であります。材料の高騰は経営を圧迫し、全社員が歯をくいしばって企業努力に努めている現状でありますので、業界団体をはじめ関係各位の皆様方におかれましても、この点ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

当協会は発足したばかりで、まだまだ未熟ではございますが、公平・公正な遊技を遊技球を通しての研究、より良い環境作りへの貢献、不正防止活動への貢献を基本方針といたしまして、パチンコ業界の発展に少しでも貢献できるよう、協会役職員が一丸となってより一層努力を傾注してまいり所存であります。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

## 平成 18 年度基本方針

- 公平・公正な遊技を遊技球を通して研究・活動する
- より良い環境づくりに貢献して行く
- 不正防止活動に貢献して行く

# 平成 18 年度事業計画

(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

## 総務委員会

1. 当協会の基本資料作りのまとめ 6 月～  
技術委員会よりの遊技球の資料と総務委員会の資料をまとめ当協会の基本資料を作成する。
2. 遊技球を通してそれぞれの業界とのコミュニケーションを図る 6 月～
  - 2-1 当協会としてパチンコ業界および関連業界にご挨拶
  - 2-2 当協会の意義を広報していく
3. 事業活動の広報 7 月中
  - 3-1 ホームページの立ち上げ 9 月  
1 で作られた資料および 遊技球に関する情報を提供していく
  - 3-2 勉強会(講演会) 9 月  
多方面での知識導入の研修会及び遊技球製造技術の啓蒙普及のための勉強会等の開催
4. 遊技球製造協会の業務の推進 随時  
遊技球製造協会の業務推進活動で起こる業務の推進

## 技術委員会

1. 風営法を基本とした球の製造方法と寸法規格等の統一化 随時  
現在まで各社が独自規定により製造してきた球の寸法検査規格を統一化する遊技球に求められる品質の研究
  2. トレーサビリティの研究 随時
    - 2-1 球の流通を製造出荷から廃棄までを調査研究
    - 2-2 不法投棄や犯罪行為等に使用されにくい球の研究開発
  3. 球の認証に関する研究 随時
- ※ 上記(2-2)における行為が起こった時の球からの情報識別方法の開発

# 平成 18 年度運営方針

(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

## 総務委員会担当

副理事長 佐藤晃司

設立してはや 2 期目を向かえますが、今期が実質的なスタートの年だと思っています。

諸会議の設営や事務、庶務などを担う総務委員会の担当としてスムーズな協会運営ができるように努めます。組織の円滑な運営はトップのリーダーシップはもとより基本方針や事業目的を社員全員が十分理解し行動して行く事が何より重要であると考えます。

また、遊技球の事を広く知って頂くために業界各団体、行政、マスコミに情報を発信して行かなければなりません。そして社員が情報を共有し組織の活性化に努めると共にコミュニケーションがより一層深まるように全力を傾注してまいります。

## 技術委員会担当

副理事長 佐竹 功

技術委員会といたしましては、発足以来パチンコ遊技には球が必要不可欠であるという認識のもとに、風営法を基本とした遊技球の高品質化に向け懸命に取り組んできたところであります。

本年度は引続き更なる高品質化・高精度な遊技球の技術開発を推し進めると共に、不法投棄や犯罪防止対策の一助としてのトレーサビリティ技術の開発・研究等を実施して参りたいと思っております。

## 総務委員会

委員長 小西昭夫

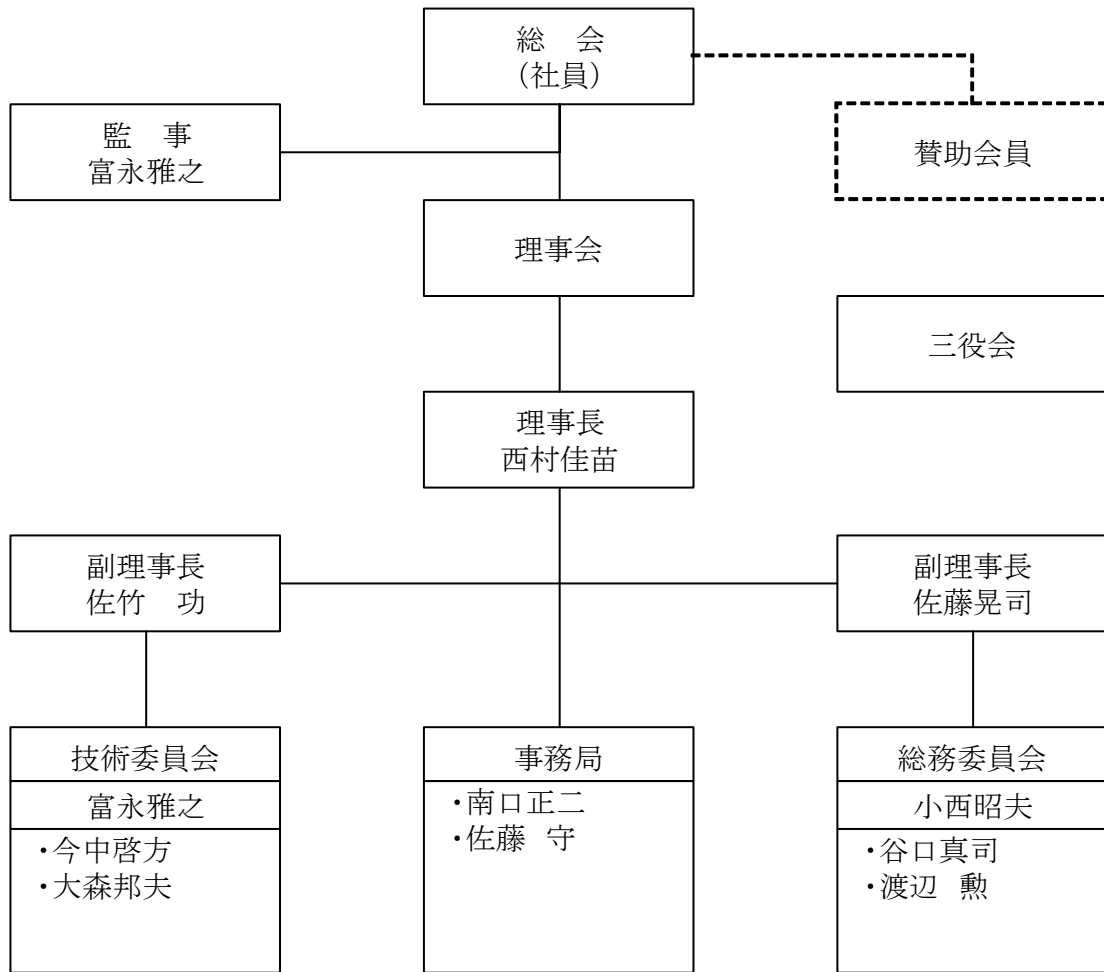
当協会発足後日も浅く事務的にも未整備な面があるので、総務委員会として順次これらを整備推進し、円滑な運営に努めると共に、併せて業界の中での当協会の意義を早く広報していきます。

## 技術委員会

委員長 富永雅之

技術委員会としてお客様に安心して使用していただける品質と共に社会に貢献できるよりよいシステムの研究開発を行い、協会全体でパチンコ業界に貢献できるよう努力してまいります。

## 平成 18 年度有限責任中間法人遊技球製造協会 組織図



総 会	● 協会の最終意思決定
監 事	● 協会の業務の監査
理 事 会	● 協会の運営の意思決定
理 事 長	● 定款に基づく(協会の統括)
副 理 事 長	● 定款に基づく(理事長の補佐)
三 役 会	● 理事会の運営をスムーズに進めるための準備機関 ● 理事会運営の為の準備・懸案事項等の調整機関 ● 理事長・副理事長がこれに当たる(必要に応じ随時開催)
技術委員会	● 協会の技術部門を司る ● 委員会事業の執行
総務委員会	● 理事会の運営・総会の準備及び進行 ● 委員会事業の執行
事 務 局	● 協会事務の執行・各委員会のサポート ● 会計事務(予算の執行・決算) ● 一般庶務事項 ● 渉外・折衝窓口・その他事項 ● 理事会の補助機関
賛 助 会 員	● 定款に基づく。(時機を見て詳細案文を作成する。)